



# せたがや区議会だより

No.194

平成16年(2004年)4月28日  
発行 世田谷区議会

〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27  
TEL(5432)1111代表 FAX(5432)3030  
http://www.city.setagaya.tokyo.jp/kugikai/

## 平成16年度予算が成立—第1回定例会開催—

### 議決内容

議決された案件の概要をご紹介します。今回の定例会には、区長から49件の案件が、議員から1件の案件が提出され、すべて原案どおり可決しました。

#### ●16年度各会計予算

5件

##### ○一般会計

賛成多数 賛成「自民、公明、民主、生、政策」  
社民、無所属  
反対「共産、反政、無所属、無所属」

##### ○国民健康保険事業会計

賛成多数 賛成「自民、公明、民主、生、政策」  
社民、反政、無所属、無所属  
反対「共産」

##### ○老人保健医療会計(全員賛成)

賛成多数 賛成「自民、公明、民主、生、政策」  
社民、反政、無所属、無所属、無所属

##### ○介護保険事業会計

賛成多数 賛成「自民、公明、民主、生、政策」  
社民、反政、無所属、無所属、無所属

##### ○中学校給食費会計(全員賛成)

賛成多数 賛成「自民、公明、民主、生、政策」  
社民、反政、無所属、無所属、無所属

##### ●15年度各会計補正予算

4件

##### ○一般会計(第五次)

賛成多数 賛成「自民、公明、民主、生、政策」  
社民、反政、無所属、無所属、無所属

##### ○国民健康保険事業会計(第二次)

賛成多数 賛成「自民、公明、民主、生、政策」  
社民、反政、無所属、無所属、無所属

##### ○老人保健医療会計(第二次)

賛成多数 賛成「自民、公明、民主、生、政策」  
社民、反政、無所属、無所属、無所属

##### ○介護保険事業会計(第二次)

賛成多数 賛成「自民、公明、民主、生、政策」  
社民、反政、無所属、無所属、無所属

賛成多数 賛成「自民、公明、民主、生、政策」  
社民、反政、無所属、無所属

##### ○国民健康保険事業会計(第二次)

賛成多数 賛成「自民、公明、民主、生、政策」  
社民、反政、無所属、無所属、無所属

##### ○老人保健医療会計(第二次)

賛成多数 賛成「自民、公明、民主、生、政策」  
社民、反政、無所属、無所属、無所属

##### ○介護保険事業会計(第二次)

賛成多数 賛成「自民、公明、民主、生、政策」  
社民、反政、無所属、無所属、無所属

##### ●条例の新設

2件

##### ○外部監査条例(全員賛成)

賛成多数 賛成「自民、公明、民主、生、政策」  
社民、反政、無所属、無所属、無所属

##### ○特別工業地区建築条例

賛成多数 賛成「自民、公明、民主、生、政策」  
社民、反政、無所属、無所属、無所属

特別工業地区内の建築物の建築制限などを定めた。

##### ●条例の改正

25件

##### ○組織条例

賛成多数 賛成「自民、公明、民主、生、政策」  
社民、反政、無所属、無所属、無所属

##### ○子ども施策の総合的な展開や道路整備の更なる推進を図るため、体制を整備したことなど。

賛成多数 賛成「自民、公明、民主、生、政策」  
社民、反政、無所属、無所属、無所属

##### ○手数料条例

賛成多数 賛成「自民、公明、民主、生、政策」  
社民、反政、無所属、無所属、無所属

##### ○前立腺がん検診及び乳がん検診の手数料の額を定めたことなど。

賛成多数 賛成「自民、公明、民主、生、政策」  
社民、反政、無所属、無所属、無所属

##### ○水防・応急措置業務従事者の損害補償条例

賛成多数 賛成「自民、公明、民主、生、政策」  
社民、反政、無所属、無所属、無所属

##### ○国が定める補償額を速やかに支出できるように、規定を整備したことなど。

賛成多数 賛成「自民、公明、民主、生、政策」  
社民、反政、無所属、無所属、無所属

##### ○財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例

賛成多数 賛成「自民、公明、民主、生、政策」  
社民、反政、無所属、無所属、無所属

##### ○事業者がものづくりに関する事業の運営で区施設を使用する際の規定を設けたことなど。

賛成多数 賛成「自民、公明、民主、生、政策」  
社民、反政、無所属、無所属、無所属

##### ○監査委員条例(全員賛成)

賛成多数 賛成「自民、公明、民主、生、政策」  
社民、反政、無所属、無所属、無所属

##### ○外部監査の結果などの公表について、必要な事項を定めた。

賛成多数 賛成「自民、公明、民主、生、政策」  
社民、反政、無所属、無所属、無所属

##### ○支所設置・組織条例

賛成多数 賛成「自民、公明、民主、生、政策」  
社民、反政、無所属、無所属、無所属

して設置することなど。

##### ○文学館条例(全員賛成)

常設展の観覧料に関する規定を整備した。

##### ○児童館条例(全員賛成)

烏山児童館の位置を南烏山4-26-13に変更した。

##### ○国民健康保険条例

賛成多数 賛成「自民、公明、民主、生、政策」  
社民、反政、無所属、無所属、無所属

##### ○興行場条例(全員賛成)

賛成多数 賛成「自民、公明、民主、生、政策」  
社民、反政、無所属、無所属、無所属

##### ○プール経営許可条例(全員賛成)

プール水に起因する疾病の発生防止に向けた規定を整備したことなど。

##### ○心身障害者福祉手当条例

賛成多数 賛成「自民、公明、民主、生、政策」  
社民、反政、無所属、無所属、無所属

##### ○特養ホーム条例

賛成多数 賛成「自民、公明、民主、生、政策」  
社民、反政、無所属、無所属、無所属

##### ○自転車条例(全員賛成)

千歳船橋北第二自転車等駐車場を廃止した。

##### ○地区計画区域内の建築物制限条例

賛成多数 賛成「自民、公明、民主、生、政策」  
社民、反政、無所属、無所属、無所属

##### ○公用条例(全員賛成)

次公園を新設したことなど。

##### ○身近な広場条例(全員賛成)

等々力不動広場を廃止したこと

など。

##### ○街づくり条例

賛成多数 賛成「自民、公明、民主、生、政策」  
社民、反政、無所属、無所属、無所属

##### ○公共物管理条例(全員賛成)

公共物の占用料の額を改定したことなど。

##### ○道路占用料条例(全員賛成)

道路の占用料の額を改定した。

##### ○校外学園条例(全員賛成)

町村合併に伴う富士河口湖町の設置に伴い、河口湖林間学園の住居表示を変更した。

##### ○総合運動場条例(全員賛成)

水泳場の個人利用について、1時間以内の利用料金を新設した。

##### ○学校施設使用条例(全員賛成)

温水プールの個人利用について、1時間以内の利用料金を新設したことなど。

##### ●条例の廃止

1件

##### ○国民年金特例納付保険料資金貸付条例(全員賛成)

当該制度を廃止した。

##### ●工事請負契約の変更

1件

##### ○船橋小学校改築給排水衛生設備工事(全員賛成)

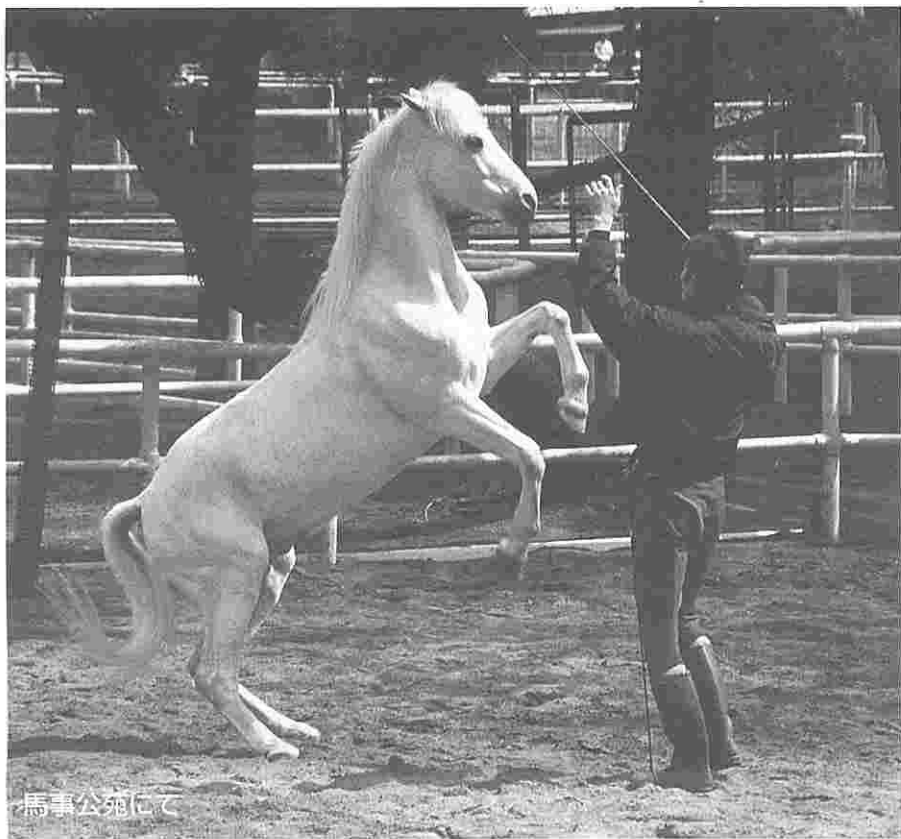
契約相手方を変更した。

##### ●区道路線の認定

8件

##### ●損害賠償額の決定

1件



馬事公園にて

名称	所在地
宇奈根渡し場道公園	宇奈根2-8-28
鎌田前耕地公園	岡本2-10-10
みやつばら公園	喜多見4-27-24
桜丘宇山緑地	桜丘3-28-10
三宿の森緑地	三宿2-27-27

所在地	延長(m)
世田谷4-7	49・60
経堂1-33先	19・91
3-6先	19・91
経堂4-32・30	20・84
経堂4-42・43	19・23
経堂4-40	94・89
6-40	35・76
6-41	71・30
6-42	7・80



# 問 質 表 代

自由民主党世田谷区議団

新川 勝二議員

## 職員定数の更なる削減

**質問** 区は16年度予算案で人件費約23億円を削減し、120名の職員定数削減を目標に掲げた。17年度以降も保育園民営化など行政の構造改革を断行し定数を更に削減せよ。  
**区長** 新たな基本計画などと共に定員適正化計画も定め取り組む。滞納整理の徹底

**質問** 国保料や保育料などの滞納問題が深刻化し、負担の公平性の観点から制度の信頼を揺るがしかねない状況だ。受益者負担の適正化に向け、滞納整理に力を注げ。  
**助役** 収入率向上を目指す数値目標を設定し、取り組みを強化する。独自性ある基本計画の策定

**質問** 基本計画審議会の答申が出され、計画策定が本格化する。自治体間競争の流れの中で、世田谷の地域性に根差した独自性あふれる計画を策定し、全国に発信せよ。  
**区長** 答申を尊重し、区民の意見も取り入れて策定する。

**減災対策の推進**  
**質問** 安全安心のまちづくりには、地震発生前に被害想定に基づいてあらかじめ対策を講じておく減災対策が欠かせない。区民の生命と財産を守るため、強力に取り組み。  
**都市整備部長** 既存建築物の耐震性向上の啓発などに努める。

**観光施策による商店街の活性化**  
**質問** 都市としての魅力を内外にPRすれば、まちの集客力が向上しにぎわいも生まれる。観光施策の観点から世田谷の魅力を発掘し、商店街の活性化につなげよ。  
**産業振興部長** マスメディアや交通事業者などと協力し工夫する。資源持ち去り行為の防止

**質問** 集積所から古紙などの資源が持ち去られる被害を防止するため、区独自の条例による罰則の適用が始まる。警察とも協力し、資源持ち去りの一掃に全力を挙げよ。

清掃サービス部長 警察との合同パトロールの実施などに取り組む。

**高齢者在宅サービスの充実**  
**質問** 介護保険は在宅介護を重視しているが、高齢者には在宅生活への不安があり、施設入所志向が強い。高齢者向け安心モデル事業の成果を制度の見直しに生かせ。  
**区長** ナイト・ケアパトロールなど独自施策の成果を国に発信する。国分寺崖線の保全

**質問** 国分寺崖線を中心とする地域では、自然環境の保全と共に都市基盤整備による地域の活性化など総合的な将来像を区民に示すべきだ。保全整備方針の策定を急げ。  
**都市整備部長** 保全と開発の調和の取れたマスタープランを作る。道路整備の推進

**質問** 道路整備のスピードアップを掲げる区は、未着手の都市計画道路の整備を積極的に進めるべきだ。都の道路整備方針との整合を図り、整備を推進せよ。  
**助役** 都の方針や地域のまちづくりの進展状況を考慮し取り組み。京王線連続立体化の早期実現

**質問** 京王線の連続立体化は都市計画決定されているが、事業化の時期は未定だ。地域では推進協議会が発足し、活発に活動している。区も早期実現に向けて取り組み。  
**区長** 16年度予算で調査費を計上し、都や事業者と検討していく。地籍調査の実施

**質問** 土地の境界や地積などを明らかにする地籍調査は、土地取引の円滑化や道路境界の明確化に役立つ。都市基盤整備に力を注ぐ区として、計画的に調査を実施せよ。  
**建設住宅部長** 予備調査の結果を踏まえ、本格的に調査を開始する。教育改革の推進

**質問** 教育現場と教育委員会との一層の意思疎通を図り、課題を共有して改革に取り組むべきだ。子どもや保護者が真に望む教育の実現に向け、教育改革を断行せよ。  
**教育長** 学校や家庭などの意見を反映させ、実効性ある改革を行う。

生活者ネットワーク世田谷区議団

山本 きょう子議員

## 都市整備方針見直しでの区民参加

**質問** 住み続けたいと思える世田谷の実現には、住民主体のまちづくりが不可欠だ。都市整備方針の見直しでは、区民が納得する内容となるよう、参加手法を工夫せよ。  
**区長** 都市整備部長 区民の提案を可能な限り反映させていきたい。次世代育成の行動計画の策定

**質問** 次世代育成の行動計画の策定では、子どもの権利を尊重し地域全体で子育てを支援する視点が重要だ。子どもが主役という認識の下、意見を十分反映させよ。  
**生活文化部長** 関係者との意見交換など、策定準備を進めている。男女共同参画と子育て支援策

**質問** 子育て支援策の実施では、男女が共に子育てを担えるよう仕事との両立を支援する視点を欠いてはならない。組織の垣根を越え、横断的な協力の下に施策を進めよ。  
**助役** 男女共同参画の重要性に留意し、施策の充実に努めていく。特別支援教育に向けた体制の整備

**質問** ノーマライゼーションの理念の下、すべての子どもが共に学ぶ特別支援教育の実現が急務だ。普通学級で子どもへの障害に合わせた支援を実施できる体制を整えよ。  
**教育政策部長** 相談体制や教員の研修など具体的な対応を検討する。障害のある子どもの支援体制

**質問** 障害のある子どもの発達段階に応じた支援には、教育や福祉、医療の分野の連携が必要だ。支援策を総合的に調整する体制を築け。  
**保健福祉部長** 庁内だけでなく民間などとの連携も強化し取り組む。介護予防やリハビリの推進

**質問** 高齢者が自立して暮らせるよう、介護予防やリハビリに力を注ぐべきだ。個々の状態に合ったサービスを提供すると共に効果を検証し、事業の実効性を高めよ。  
**在宅サービス部長** 効果的な介護予防

などに総合的に取り組んでいく。ケアマネージャーの質の向上

**質問** 介護保険では、要介護者の自立支援を一層重視すべきだ。自立に近づけるきめ細かなケアプランを作成できるよう、ケアマネージャーの研修に工夫を凝らせ。  
**保健福祉部長** 実践研修の充実や参加を促す取り組みなどを行う。福祉サービスの第三者評価制度

**質問** 福祉サービスの質を向上させるため、区は独自の第三者評価制度の導入に取り組んでいる。利用者への信頼を損なうことなく評価が行われるよう、万全を期せよ。  
**保健福祉部長** 17年度の本格実施を目指し試行を拡大していく。食品安全行政の積極的な展開

**質問** 食の安全に対する消費者の不安は増している。消費者や事業者、区による会議を開催したが、会議での議論を施策に生かし、食品安全行政を積極的に展開せよ。  
**保健所長** 意見交換の場の充実を図り区民の声を施策に反映させる。

## せたがや政策会議 大庭 正明議員

**区政運営の視点**  
**質問** お役所任せや慣例にとらわれ閉塞感が漂う区政の現状を、区長は限られた任期の中で政治主導で打破すべきだと考えるが、区長の見解を問う。  
**区長** 区民の意向を十分に把握し、行政だけに任せず政治家として積極的に行動していく。

**区長が両助役に期待するもの**  
**質問** 現区長が2名の助役を自ら選任した体制となった。両助役に期待する点を具体的に挙げよ。  
**区長** 新しいことに果敢に取り組み、平谷助役には豊富な行政経験の活用を、山田助役には自治権拡充に向けた区との関係強化を期待する。

**平谷助役の抱負**  
**質問** 区職員出身の助役として今後どういった姿勢で職務に臨むのか。

助役 区政課題の解決に取り組む区長を職員と共に支えていく。

**山田助役の抱負**  
**質問** 国家公務員出身の助役は経験を通じてどう生かしていくのか。  
**助役** 区政改革に向け、ITの積極的な活用に取り組む。

**都区財調制度改革の戦略**  
**質問** 停滞する都区財調制度改革を成し遂げるには、23区一体の論理から脱却し、新しい区民のあり方を確立すべきだ。都や他区との関係を競争関係にとらえ、政策判断を左右する相手側の情報を収集し、改革を達成する戦略を立てよ。  
**区長** 助役 改革が必要な時期だと認識しており、有用な情報を集め政策判断に役立てていく。

**公共施設の整備のあり方**  
**質問** 施設の維持管理経費が増え続け、区財政を圧迫している。将来、庁舎建設を検討するとしても、今後の組織や機能のあり方の見極めが前提だ。未来を見据えた公共施設整備方針の策定を急げ。  
**助役** 地域社会の変容や住民ニーズの動向などを検証しながら整備方針の策定を進める。

**経済動向を意識した行政運営**  
**質問** 施設建設には多大な費用を要するため、財政的視点からの検討が必要だ。国の財政は破綻状態であり、区が独自財源を調達するには経済動向の把握が不可欠だ。必要な情報を広く収集し、的確な政策判断を生かせ。  
**政策経営部長** 社会経済動向の情報収集を強化し、財源調達に有利な時期の区債発行に努めたい。

**区民の満足度を高めるまちづくり**  
**質問** 区民の満足度を高めるまちづくりが不可欠だ。桜新町の葬祭場建設問題を契機に、中高層建築物の紛争予防条例の改正を求め、請願が出され、委員会で見解付採択となった。良好な住環境を望む住民の声に区はどう応えるのか。  
**都市整備部長** 条例改正については議会の意思に沿った対応を速やかに図っていく。

日本共産党世田谷区議団

中里 光夫議員

## 被爆者見舞金の削減撤回

**質問** 被爆者は原爆の悲惨な体験を乗り越えた戦争犠牲者だ。被爆者見舞金を削減すべきでない。区長は被爆者をないがしろにしないと言いが、これがその答えなのか。  
**区長** 在宅サービス部長 ゼロにする訳ではなく、軽減してはいない。不要な都市計画道路の見直し

**質問** 区は福祉予算を削減する一方、住民が望まない都市計画道路の整備に多額の予算を投入しようとしている。まちを分断し道路公害を招く不要な道路計画は見直しせよ。  
**建設住宅部長** 整備は住宅地の通過交通の減少などに有効だ。二子玉川再開発事業の見直し

**質問** 再開発事業は全地権者の合意を前提とすべきだ。準備組合の総会での賛成が地権者の半数にも満たない状況だ。事業認可申請を行わないよう準備組合を指導せよ。  
**助役** より多くの地権者の同意を得られるよう、引き続き指導する。特養ホームの建設促進

**質問** 特養ホーム待機者は増加しているが、当面の建設計画はない。特養ホーム建設をしないまま区民の願いに応えられないと考えるのか。  
**在宅サービス部長** 在宅介護を支えるサービスの充実に取り組む。出張所の見直し問題

**質問** 区は出張所の見直しに向け説明会を開いたが対象者を限定していた。身近な行政機関である出張所のあり方を広く議論するため、だれもが参加できる説明会を開け。  
**世田谷支所長** 出張所のあり方検討部会の最終報告を受け判断する。下北沢駅周辺の空き地対策

**質問** 下北沢駅周辺では道路用地の買収などで空き地が目立っている。商店街などと協議し、まちのにぎわい創出に有効に活用せよ。  
**北沢支所長** 活用できる土地があれば、事業者などと協議する。



3月1日及び2日の本会議で、6名の議員がそれぞれの会派を代表して質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

公明党世田谷区議団  
市川 康憲議員

世田谷の将来像

**質問** 区政は未来の区民に対しても責任を負っている。環境に負荷をかけず、幾世代にもわたり生き生きと暮らせる社会の実現を目指し、次期基本計画を策定せよ。

**区長** 幅広く意見を聞きながら、世田谷の将来像を明らかにしたい。ハローワーク分室との連携

**質問** 下北沢にハローワーク渋谷の分室が開設された。1カ所であらゆる課題に対応できるように、区が独自に行っている職業相談などの関連サービスも集約し提供せよ。

産業振興部長 ワンストップサービスの実現に取り組んでいく。

**観光振興策の工夫**

**質問** 経済効果が大きい観光の視点から区内に残る豊かな自然などを一層PRすべきだ。等々力溪谷を駅名にするよう事業者に働きかけるなど、観光振興策を工夫せよ。

助役 産業界やNPOなどと協力し、観光施策を推進したい。

大震災への万全な備え

**質問** 大震災から区民の生命と財産を守るのは区の責務だ。時間や労力を惜しまず、常に最悪の事態を想定し震災対策に万全を期せ。

**区長** 災害に強いまちを目指し事業者や関係機関との連携を強める。

**一人暮らし高齢者の安心確保**

**質問** 区の高齢者安心コールは利用者からの発信が前提だ。高齢者が一層安心して暮らせるよう、安否確認の訪問に区民の協力を求めるなど、双方向の仕組みを整えよ。

在宅ケア部長 ITなどを活用し、双方向ケア体制の構築を検討する。

新たな出張所のあり方

**質問** 区は出張所の見直しに取り組んでいる。機能や職員数が大幅に縮小される出張所は、在宅介護支援センターなどを併設して福祉の拠点とし、住民と協働した委員会方式で運営に当たれ。

**助役** 新しい出張所の運営状況などを見ながら検討していきたい。

**子ども施策の強力な取り組み**

**質問** 子どもをめぐる課題は障害児への支援、学力向上、放課後対策など多岐にわたる。新設される子ども部には、全庁横断的に施策を展開できる十分な権限を与えよ。

**助役** 関連機能を集約すると共に、全庁的なネットワークを作る。

**幼児教育センター構想の実現**

**質問** 幼児虐待を防ぐには、子育ての意義を保護者に啓発することも重要だ。幼児教育センターを設立し保護者を支える施策を行え。

**教育長** 子育て支援策の一環として、区としての考えをまとめたい。

**学校の防犯対策の強化**

**質問** 学校の防犯体制の強化には、各校の実情に応じた対策が不可欠だ。教員などに対応策の提案を求め、専門家や警察の意見を聞きながら効果的な対策を実施せよ。

**教育政策部長** 保護者や校長などによる検討会を設け対策を立てる。

**自治権拡充への取り組み**

**質問** 特別区は法制度上の制約により、都区財調や清掃事業など区単独では解決できない課題が多い。真に自立した自治体を目指し、自治権拡充を国や都に強く求めよ。

**区長** 自主性を確立するための働きかけを更に進めていく。

**教員人事権の区への委譲**

**質問** 学校教育を通じて子どもを健全に育むためには、人間性の豊かな教員の確保が欠かせない。構造改革特区を活用し、教員人事権の都から区への委譲を実現せよ。

**教育長** 都に引き続き要望すると共に、様々な手法を検討していく。

**グループホームの整備促進**

**質問** 高齢者が地域に安心して住み続けられるよう、グループホームの整備を急ぐべきだ。個人住宅の提供やNPOの参入などを広く

呼びかけ、積極的に整備を進めよ。

**在宅ケア部長** 多様な住居の整備を促進する仕組みを研究する。

**行政の活性化の推進**

**質問** 区民サービスの向上には行政の活性化が不可欠だ。民間企業の経営手法の導入などにより職員の改革意欲を改善に生かせる環境を創出し、行政の活力を生み出せ。

**区長** 個々の職員に積極的なサービス改善の取り組みを求めている。

**区民との情報交換**

**質問** 行政の活性化を進めるには、区民意見の反映が重要だ。インターネットの活用など区民と行政が情報交換できる仕組みを拡充せよ。

**政策経営部長** 情報提供や区民意見を把握する方法を更に工夫する。

**PFI導入への取り組み**

**質問** 限りある財源の中でサービス水準を維持しつつ公共施設の整備を進めるには、PFIの導入が有効だ。導入の適否を調査する検討会の設置などに早急に取り組み。

**政策経営部長** 導入の可能性を多角的に検証していきたい。

**外郭団体の自立した運営**

**質問** 公益法人改革や指定管理者制度の導入が進む中、区の外郭団体には民間企業との競争を生み抜く力が求められている。自立性の高い団体となるよう経営改善への計画的な取り組みを指導せよ。

**助役** 政策経営部長 団体の事業の検証が必要だと認識している。

**利用者の立場での出張所改革**

**質問** 出張所の見直しでは、一部の出張所を地域活動の拠点とし、窓口業務を縮小する案が検討されている。利用者の利便性に十分配慮して検討を進めよ。

**世田谷支所長** 住民票自動交付機などによる補完策を検討している。

**地域行政制度の将来像**

**質問** 出張所の見直しと共に、本庁や支所のあり方も再検討すべきだ。区民の視点で将来を見越したビジョンを打ち出せ。

**政策経営部長** 基本計画の策定の中で将来構想を示したい。

一般質問

3月2日及び3日の本会議では27名の議員が区政をめぐる諸課題について質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

小泉 たま子議員 (政策)

**出張所見直しの課題**

**質問** 出張所は区民生活を支える地区の拠点だ。見直しに当たっては、効率性のみを追求することなく、コミュニティの結び付きを強め活性化させる機能をなくすな。

**答弁** 新たな出張所においても、区民との信頼関係を築いていく。

**総合支所制度の見直し**

**質問** 地区における区民活動への支援を充実すべきだ。出張所などの地区の施設を単に経費削減の観点から見直すのではなく、支所制度のあり方を抜本的に見直せ。

**答弁** 次期基本計画を策定する中で、今後の方向性を見定める。

**地区の改革の進め方**

**質問** 出張所などの地区施設の見直しでは、急激な変更により区民に混乱を与えてはならない。明確な展望を持ち、検証を重ねながら段階的に進めよ。

**答弁** 見直し実施後は、経過を適宜検証し柔軟に対応していきたい。

畠山 晋一議員 (自民)

**区民健康村事業のあり方**

**質問** 川場村での区民健康村事業は大変有意義だ。区立小の移動教室で、子どもは直接自然に触れ、農家の人々と交流し多くのことを学んでいる。しかし、維持管理などに年間約5億円の予算を要している。今後は費用対効果も一層考慮して事業を展開せよ。

**答弁** 政策評価委員会の報告も踏まえ、他の事業とのバランスを考慮しながら取り組む。

**生活保護受給者の自立支援**

**質問** 生活保護の本来の目的は、困窮の程度に応じて最低限度の生活を保障すると同時に、自立を促すことだ。しかし、制度を逆手に取って求職活動などを怠っている者がいるのも事実だ。被保護者を自立に導く手立てを工夫し、実効性ある取り組みを行え。

**答弁** 就労支援事業を強化するなど、個々の実情に応じた自立支援策を進めていく。

平山 八郎議員 (自民)

**外環道建設予定地の先行買収**

**質問** 外環道の練馬・世田谷区間は、国の建設凍結宣言により、用地買収が進んでいない。早期実現に向け、他市で始めている建設予定地の先行買収に区も取り組み。

**答弁** 先行事例を踏まえ、引き続き国や都と調整していく。

**外環道建設の凍結解除の可能性**

**質問** 外環道は、経済効果だけでなく幹線道路の渋滞緩和や大気汚染の軽減などに大変有効だ。建設が凍結されているが、解除の見通しについて区の見解を示せ。

**答弁** 現在、環境影響評価法による現地調査が行われている状況だ。

**祖師谷地区へのバス路線の開設**

**質問** 祖師谷地区を通るバス路線の廃止から約40年が経過しており、この間、住民は不便な生活を送っている。交通不便地域の解消に向け、バス交通の拡充に取り組み。

**答弁** 循環バス路線を早期に導入できるように取り組んでいく。

下条 忠雄議員 (反政)

**郷土愛が学校教育の主目的とは**

**質問** 区長は郷土愛を理由に学校選択制を採るのをやめたというが、学校教育の一義的目的は、子どもの将来のために学力をつけさせることだ。郷土愛とはこじつけた。

**答弁** 生まれ育った地域で学ぶことが郷土愛につながるかと考える。

**学校選択制は時代の流れ、だが**

**質問** 教師間、学校間の切磋琢磨を促す学校選択制を採らないのは世田谷と大田だけ、保護者の8割以上が賛成。区長は「当面」採用しないというが、どうということか。

**答弁** 地域が協力して学校を支える状況が続く中では導入しない。

**何かオカシイ世田谷の教育改革**

**質問** 他区が小中一貫教育など骨太な改革を打ち出しているのに世田谷は、中学校の授業を2分延長して52分にするという。小役人の発想でお粗末、改革に値しない。

**答弁** 地道な改善と共に大胆に進めるべきところは進めていきたい。



★大いへ絵



# 一般質問

竹村 津絵議員(生 不)  
資源の品目別処理原価の公表

【質問】ごみや古紙などの資源の排出を更に抑制するためには、コスト意識の醸成が不可欠だ。処理経費の内訳を詳しく算出し、資源回収の品目別の経費を明らかにせよ。

【答弁】適切な算出方法などを検証し処理原価の公表に向け検討する。

ガス化溶融炉の情報提供の要請

【質問】世田谷清掃工場にガス化溶融炉が導入される予定だが、未だに安全性や維持管理経費などの情報が不十分だ。清掃事務組合に十分な情報提供を求めよ。

【答弁】積極的に情報を明らかにするように改めて申し入れる。

学校間連携による環境教育の充実

【質問】昨年10月に「環境教育推進法」が施行され自治体にも広く総合的な推進が求められている。近隣の学校間連携による体験学習の充実など、多様な方策を講じよ。

【答弁】地域の実態や特色を踏まえ学校間の連携活動を更に進める。

稲垣 まさよし議員(民主)

一人暮らし高齢者への施策の充実

【質問】一人暮らし高齢者の増加が見込まれ、引きこもりを防ぐ積極的な支援が求められる。自宅を出て集団で食事をする会食サービスなどの施策を一層展開せよ。

【答弁】外出を促す取り組みを充実していきたい。

精神障害者の地域での支援体制

【質問】国は精神障害者の入院患者を退院させ、地域での生活を通じて社会復帰を促す方針を示した。地域生活支援センターを活用した生活を支える仕組みづくりを急げ。

【答弁】引き続き不安解消に向けた相談事業や情報提供などを行う。

精神障害者への就労支援

【質問】精神障害者の社会参加につながる一般企業への就労を促進すべきだ。企業にとっても有益な雇用の確保に結び付くよう、効果的な支援策を講じよ。

【答弁】就労支援システムを構築し訓練や職場開拓などを実施する。

新田 勝己議員(自 民)

地域力向上の方策

【質問】安全で安心なまちの実現には地域力の向上が大切だ。出張所の見直しでは、情報提供機能の充実や地域活動団体への支援強化など、活力ある地域づくりを目指せ。

【答弁】地区の交流の場としての活用など新たな展開を検討している。

中学生を対象とする事業のあり方

【質問】中学生の間では、放課後活動事業STEPの認知度がとても低い。更なる事業の拡大が計画されているが、利用者である生徒の声を十分に聞いて慎重に進めよ。

【答弁】生徒への周知徹底やニーズに合わせ活動内容の充実を努める。

補習授業を希望する生徒への対応

【質問】学校週5日制で授業時間が減少し、進学の学力に不安を感じている中学生が多い。生徒の要望を的確に把握し、放課後や土曜日を活用した補習授業を充実せよ。

【答弁】新たな中学校講師配置事業の活用など各校を指導していく。

板井 斎議員(公 明)

昼休みの窓口業務の全庁での実施

【質問】区は、様々な場面で区民サービスの向上を目指すとしながら、未だに昼休みに窓口業務を行っていない部署がある。昼休み中もすべての部署で窓口業務を行え。

【答弁】執行体制の工夫などにより対象窓口の拡大に努めていく。

窓口業務の利便性の向上

【質問】区民生活の多様化や共稼ぎ世帯の増加で、区の窓口業務の時間延長や休日開設を望む声がある。税金や国保などの業務も取り扱える体制を整え、実現に努めよ。

【答弁】費用対効果を勘案しながら窓口サービスのあり方を検討する。

申請書のダウンロードサービス

【質問】区が行っている申請書のダウンロードサービスは、導入の判断や運用が各部署で異なっている。全庁的な実施基準を早期に作成し、使い勝手の良いサービスに改めよ。

【答弁】利用者の利便性を高めるとして、この観点に立ち順次拡大していく。

上川 あや議員(虹)

不登校生徒の学力の確保

【質問】区は様々な不登校対策を講じているが、全く登校しない生徒でも卒業させている。学力不足で社会生活に困難を来さぬよう、卒業後の学習機会の提供に取り組み。

【答弁】本人や保護者の意向を受け止め、適切な進路指導を行う。

夜間中学への評価

【質問】夜間中学では様々な事情で義務教育を終了できなかった人などが、互いに認め合い真剣に学んでいる。学ぶ意欲に応える場としての夜間中学に対する評価を示せ。

【答弁】必要な学習の場を提供するという立場で考えていきたい。

不登校生徒への夜間中学の周知

【質問】夜間中学は義務教育の場であり、中学卒業後は二度と入学できない。不登校生徒を便宜的に卒業させる前に、夜間中学という学びの選択肢があることを示せ。

【答弁】各校への情報の提供を考えたい。

青空 こうじ議員(無所属)

中学校給食の充実

【質問】子どもが学校運営に参加していると感じられる機会を提供が大切だ。給食の献立に生徒の意見を一層取り入れるなど、要望を反映させ結果を分かりやすく伝えよ。

【答弁】アンケートで要望を把握し、安全でおいしい給食を提供する。

青少年の雇用対策の拡充

【質問】厳しい雇用情勢の中、将来への展望を持たず定職に就かない青少年が増加している。若い力を健全に育て、地域の力とするために、区独自の雇用対策を講じよ。

【答弁】既存事業に加え、新たな視点からの就業支援策にも取り組む。

高齢者の生きがい対策の工夫

【質問】高齢社会の進行に伴い元気に高齢者向け施策の重要性が増している。毎日楽しく過ごせるよう、区民の自主的なイベントに会場を提供するなど、支援策を工夫せよ。

【答弁】関連部署の連携を図り、より有効な生きがい支援に取り組む。

栗林 のり子議員(公 明)

高齢者の尊厳に配慮した介護

【質問】介護現場の課題解決に取り組む、介護保険制度の見直しに生かすべきだ。介護者の精神的負担の軽減などにより高齢者虐待を防止するためのネットワークを作れ。

【答弁】虐待を許さない地域社会を目指し虐待防止連絡会を設置する。

宇奈根・鎌田地区でのバスの運行

【質問】高齢者の交通手段としてバスの重要性が増している。宇奈根・鎌田地区では、地域住民の要望が強い道路の安全対策を進めバス路線の拡充に取り組み。

【答弁】二子玉川駅へのバス路線の導入を事業者に働きかける。

ウォーキングマップの作成

【質問】喜多見地域などは自然に恵まれ文化遺産も多く、散歩コースとして最適だ。ウォーキングマップを作成し、健康増進や地域の活性化、観光に広く役立てよ。

【答弁】地域の魅力を積極的に発信し、活性化につなげていく。

里吉 ゆみ議員(共 産)

少人数学級の早期実現

【質問】少人数学級はきめ細かい指導ができる上、欠席日数が減少するなど効果もある。多くの道府県で取り組んでいるが、都は実施予定がない。区独自に導入せよ。

【答弁】少人数学級ではなく、様々な形態で少人数教育を進める。

給田の墓地計画への慎重な対応

【質問】墓地経営には永続性の確保が必要だ。給田に大規模墓地の建設計画がある。事業者の財務状況などから安定的な管理運営に疑いのある場合は経営を許可するな。

【答弁】事業者の適格性や経営の永続性の審査の際は厳正に対処する。

烏山寺町の弁天池の水質保全

【質問】野鳥が多く飛来するなどきれいな水質を保つ烏山寺町の弁天池は、地下水がわき出ている貴重な池だ。周辺の井戸水の調査を継続し水質保全に努めよ。

【答弁】16年度も引き続き水位や水質の調査を実施していく。

羽田 圭三議員(社 民)

男女共同参画社会実現の取り組み

【質問】男女共同参画社会の実現が急務だ。男女が共に生きるせたがやプランを所管する部署の組織改革が行われるが、施策を後退させることなく計画を強力に推進せよ。

【答弁】就業環境支援やDV防止などの取り組みを進めていく。

通学路にある踏切の改善を

【質問】地域の実情を十分に把握したまちづくりが求められる。通学路にある踏切の実態を把握し、改善が必要な箇所の安全対策を鉄道事業者と早急に働きかけよ。

【答弁】できるところから積極的に改善を図っていく。

地域の危険空間の点検を

【質問】地域には路地裏や暗がりなど犯罪を誘発しやすい場所が多くある。犯罪発生の原因を究明し機会を与えないよう、住民と協働して危険な場所の点検活動を行え。

【答弁】街路灯などを改善し犯罪発生を防止し、子どもの安全の確保に努める。

川上 和彦議員(自 民)

教員の服務事故の再発防止

【質問】区立小教員による服務事故を二度と起こしてはならない。単なる一教員の事故で終わらせることなく、世田谷の教育全体の問題ととらえ抜本的な対策を急げ。

【答弁】厳正に受け止め全力で学校の信頼回復に努める。

京王線連立化推進の取り組み

【質問】京王線の開かずの踏切解消は地域の切実な願いだ。連立化の早期実現に向け、まちづくり懇談会の設立準備を進める各商店街を支援し、事業化の気運を高めよ。

【答弁】地域と共に連立化推進に向けて取り組んでいく。

オウム教団元代表の判決への見解

【質問】オウム教団の元代表を被告とする刑事裁判では、死刑の地裁判決が出た。教団施設が存在する自治体の長として区長は判決をどう受け止めたのか。見解を示せ。

【答弁】妥当な判断であり教団解散に向けた新法制定に一層取り組む。

高橋 昭彦議員(公 明)

区内大学との連携の強化

【質問】大学の研究成果を地域の活性化に結び付けることが必要だ。区内に多い体育系の大学と連携し、高齢者の健康づくりや子どもの体力増強への取り組みを展開せよ。

【答弁】新規事業を実施するなど、一層の連携強化に努める。

エルネットの活用

【質問】区民の幅広い学習意欲に応えるため、国の教育情報衛星通信網エルネットを活用すべきだ。無料受信できる公開講座を図書館などで受講できるようにせよ。

【答弁】先進事例や費用対効果などを踏まえ検討していく。

小中学生の防犯ブザーの周知

【質問】小中学生への防犯ブザーの貸与が始まったが、安全を確保するには地域の協力が不可欠だ。非常時に周辺住民が駆けつけ対処できるように、周知を徹底せよ。

【答弁】地域や警察などと協力し、子どもの安全の確保に努める。

赤沢 雅彦議員(自 民)

小中学生への防犯教育の充実

【質問】小中学生への防犯ブザーの貸与を契機に、自分の身を守るにはどうすれば良いかということを中心に教えるべきだ。学校などでの防犯教育の充実に一層力を注げ。

【答弁】家庭での防犯教育の重要性の啓発も含め充実を努めていく。

防犯ブザー貸与事業の周知

【質問】防犯ブザー貸与事業の効果が高まるには、地域の協力が不可欠だ。非常時の連絡体制の整備に加え、通学路へのポスターの掲示など、周知を徹底せよ。

【答弁】地域や警察との連携を強化し、一層のPRに努めていく。

午後の放置自転車撤去の強化

【質問】放置自転車の撤去は主に午前中に行われているが、午後の長時間放置も大変多い。買い物客の短時間の駐輪などには配慮しつつ、午後の撤去活動も強化せよ。

【答弁】時間貸し駐輪場の整備や午後の撤去作業の効率化に取り組む。



# 一般質問

関口 太一議員(民主)

鈴木 昌三議員(自民)

佐藤 弘人議員(公明)

山内 彰議員(自民)

菅沼 つとむ議員(自民)

吉田 恵子議員(生ネ)

**サービス公社との契約のあり方**  
サービス公社への委託事業には、単に下請けに再委託される例があり税金の無駄遣いだ。公社との契約内容を各部署が個別に定める仕組みを改め、一元管理せよ。  
答弁 基本的に窓口を一元化し、責任の明確化を図りたい。

**日本の伝統文化の普及と継承**  
能や地域芸能、囲碁、将棋など後世に残したい伝統的な芸術や文化が数多くある。文化財団を積極的に活用し、伝統文化の普及と継承に一層取り組んでいけ。  
答弁 財団の専門性を生かした事業展開に努めていく。

**アニマルセラピーの実施拡大**  
動物との触れ合いを通じて心身の健康の回復を図るアニマルセラピーは、多くの効果が実証されている。一部の特養ホームでは導入済みだが他施設へも拡大せよ。  
答弁 効果的な取り組みの一つとして紹介する。

**ジョブシェアへの取り組み**  
多様な生き方に対応できる就労形態が必要だ。働きながらも仕事以外の活動に十分な時間を割けるよう、曜日などで仕事を分担し合うジョブシェアを普及させよ。  
答弁 区としてどのような取り組みが可能か、研究していきたい。

**出張所の改革**  
出張所は身近なまちづくりの拠点として、重要な役割を担っている。見直しに当たっては、地区を支え活性化させる機能を強化するよう全力を挙げよ。  
答弁 適正な人員配置や支所の支援体制などを検討していく。

**児童虐待防止の取り組み強化**  
子どもの命を守るために、児童虐待の未然防止と早期発見に努めることが重要だ。職員向けマニュアルの活用と共に、市民団体やNPO・地域との連携を図れ。  
答弁 子どもの命と幸福を守ることを目標に様々な職場で取り組む。

**サービス公社の事業内容**  
サービス公社は、区の電算事務を多く受託しており行政関連の業務経験が豊富だ。行政のIT化に対応し、コンピュータ事業を経営の中核に据えるよう指導せよ。  
答弁 サービスの質的転換や経費削減など一層の経営努力を求めよう。

**音楽活動団体の活動の場の確保**  
区民の音楽活動への意欲を高める事業展開が必要だ。区内の音楽活動団体の活動の場を確保するため、パブリックシアターなど区施設を積極的に活用せよ。  
答弁 学校施設の改築などの機会をとらえ、場の拡充に努めたい。

**被虐待児へのケアの充実**  
虐待を受けた子どもの心や体を回復させるには、大人が責任を持って対応することが重要だ。里親制度やファミリーグループホームなどの活用を検討せよ。  
答弁 子ども条例に基づく推進計画の策定の中で検討する。

**ポイ捨て防止策の強化**  
区は条例を制定しポイ捨て防止に取り組んできたが、成果が上がっていないのが実情だ。区民の自主的な清掃活動とも連携し、より実効性ある対策を講じよ。  
答弁 活動団体などをネットワーク化し有効策を検討していく。

**太陽光発電設置助成の実施**  
世田谷のまちを育んできた用水路の歴史的意義をとらえ直し、保全と活用を図るべきだ。旧品川用水に関する遺構は、設置された当時の場所に戻して保存せよ。  
答弁 歴史的資産と位置付け、保全や活用策を検討する。

**消費者トラブル急増への対応**  
手口の巧妙な悪徳商法が急増し、消費者被害の拡大が懸念される。広報紙やホームページを一層活用し、被害に遭いやすい高齢者や若者への啓発に力を注げ。  
答弁 身近な場所が必要な情報が提供できるよう工夫していく。

**サービス公社の経営体制**  
民間では社会変化に対応するため多方面から人材を登用している。サービス公社の経営陣は全員行政出身だが、区内の有能な民間人を登用し一層の発展を目指せ。  
答弁 経営手腕を有する人材の確保が必要であると認識している。

**生涯スポーツ社会の実現**  
スポーツ財団は地域に根差した生涯スポーツ社会の実現に取り組むべきだ。地域の実態に合った事業が展開されるよう、財団の運営に地域の声を一層反映させよ。  
答弁 区民の意見を事業に生かすよう指導していきたい。

**旧品川用水の遺構の保全**  
世田谷のまちを育んできた用水路の歴史的意義をとらえ直し、保全と活用を図るべきだ。旧品川用水に関する遺構は、設置された当時の場所に戻して保存せよ。  
答弁 歴史的資産と位置付け、保全や活用策を検討する。

**太陽光発電設置助成の実施**  
生活の中で自然エネルギーを活用すれば、CO<sub>2</sub>の排出量の削減に大変効果的だ。区民のエコライフ実践活動を広めるためにも、太陽光発電設備の設置に助成を行え。  
答弁 助成の実施も含めた普及促進策を研究、検討していく。

**建築制限緩和の早急な周知**  
都市計画道路の予定区域は建築制限があるが、事業化が当面見込めない区域では緩和される予定だ。土地の有効活用による良好なまちづくりに向け周知を急げ。  
答弁 3月中に区域を決定し、区報に掲載したい。

**食の安全に関する情報提供の強化**  
BSEを初め食に関する報道は多いが、テレビや新聞の情報では消費者の不安は解消されない。関係部署が連携し、健康被害を避けるために必要な情報を提供せよ。  
答弁 広報紙の活用や出張講習会の充実などを積極的に行っていく。

桜井 征夫議員(社 民)

下山 芳男議員(自 民)

すがや やすこ議員(民 主)

諸星 養一議員(公 明)

木下 泰之議員(無党派)

**道路整備による地域経済の活性化**  
増大する行政需要への対応が急がれる中、16年度予算案では道路整備に重点が置かれた。整備に当たっては、雇用創出や地域経済の活性化も導く視点で取り組め。  
答弁 地元中小業者にも施工可能な事業だと認識している。

**新体育館の建設**  
区立の大型体育館は総合運動場1カ所しかない上、老朽化も進んでいる。生涯スポーツの振興に向け、多様なニーズに対応できる新体育館を建設せよ。  
答弁 公共施設整備方針を策定する中で検討していきたい。

**幼児教育の重要性**  
区は学校教育を充実するために様々な方策を講じているが、幼稚園での取り組みは小中学校に比べ不十分だ。人格形成の上でも重要な幼児教育への認識を示せ。  
答弁 様々な体験を通じ、入学後の生活や学習の基盤を培うものだ。

**生活道路での歩行者の安全確保**  
下馬3丁目から野沢2丁目に至る区道は、環7への抜け道として使われ通過車両が多い。高齢者や子どもにとって非常に危険な生活道路の安全対策に万全を期せよ。  
答弁 運転者の注意を喚起する特殊舗装など安全対策を講じる。

**2倍の速度で道路整備は街破壊だ**  
区長の「2倍の速度で道路整備」路線は、まちの高層化や緑の喪失、交通量の増大を招く。防災上も危険だ。再開発重視をやめむしる地先道路整備を優先せよ。  
答弁 地先道路や都市計画道路をバランスよく整備していく。

**超高層は危険、防災手抜き許すな**  
北烏山の100mマンション建設では、防災上から区が業者と結んだ協定が見逃ごされ建設が進んでいる。協定通り計画内に6m幅員の道路を整備するよう求めよ。  
答弁 本日、協定どおり車路を確保するよう努力すると回答を得た。

**世田谷型地域保健福祉の推進**  
社会福祉基礎構造改革が進む中、国の基準に合わせて区がサービスを抑制することが懸念される。自治体の責務である独自性のあるサービス提供に積極的に取り組め。  
答弁 区民への影響を十分考慮し慎重に事業の見直しを進める。

**統合後の池尻中体育館の活用**  
区内には体育施設が不足しており、統合後の池尻中の体育館を有効に活用すべきだ。地域スポーツの拠点や総合運動場体育館の補完などの役割を担う施設とせよ。  
答弁 多様な活用を視野に、運営方法を検討していきたい。

**区立保育園と区立小の交流の実施**  
区立幼稚園は教育機関であることから、入学に備え近隣区立小との交流を行っている。区立保育園は福祉施設との位置付けだが、幼児教育の観点から交流を行え。  
答弁 新たに設置する子ども部と教育委員会との検討課題としたい。

**住民によるまちづくりへの支援**  
住民が協力して住環境を守ってきた桜新町で民間祭場設置が問題になっている。事業者が説明責任を果たさず、地元との合意に至っていない。区の対応を示せ。  
答弁 住民の自己決定権の尊重や誠意ある対応を事業者に指導する。

**歩いて楽しめる街、下北沢を守れ**  
補助54号線は路地のまち下北沢の魅力が破壊される。整備の是非は費用も含め、区部都計道見直しで論じるべきだがされていない。補助26号、環7の整備費用を示せ。  
答弁 一部の事業費が約100億円とは言ったが、総事業費は不確定だ。

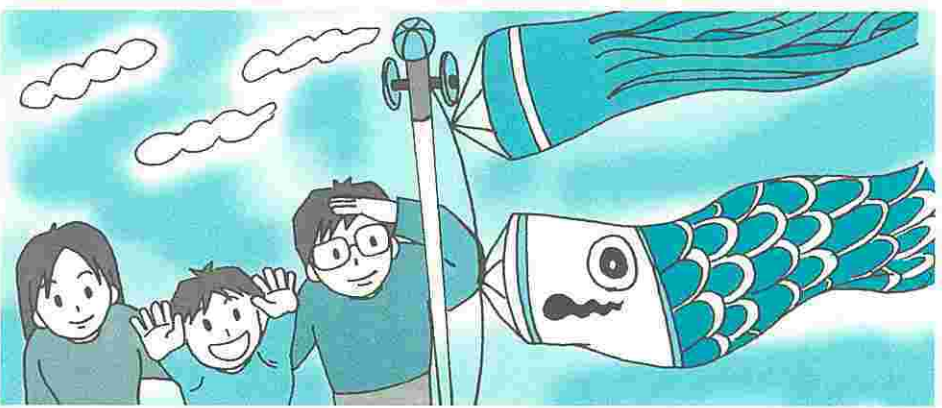
**区民本位の行政運営**  
区は行政の効率化に向け政策評価委員会による外部評価を行っている。実績を踏まえた内部評価と整合させ、区民生活への影響を考慮してサービス向上に努めよ。  
答弁 委員会の報告を尊重し内部評価と合わせて検討していく。

**保育待機児解消への取り組み強化**  
子育て世帯の転入増などにより、保育需要の増加が予想される。厳しい財政状況の中、民間の力も活用し、保育への多様なニーズに対応し待機児解消に力を注げ。  
答弁 多面的なサービスの供給体制の整備を図っていく。

**区立校の私費会計の把握**  
保護者から預かる給食費などの経費は、私費会計として各校に管理を任せている。学校の負担軽減のためにも、管理方法や滞納への対応などをルール化せよ。  
答弁 ルール化の検討も含め、透明性の高い管理を指導していく。

**準工業地域の現状**  
景気低迷などにより準工業地域から工場が転出しマンションが建設されている。住宅地化が進む現状と工場などの操業環境との調整を図るべきと考えるがどうか。  
答弁 住環境との調和を図りながら、操業環境の保全に努める。

**歩いて楽しめる街、下北沢を守れ**  
補助54号線は路地のまち下北沢の魅力が破壊される。整備の是非は費用も含め、区部都計道見直しで論じるべきだがされていない。補助26号、環7の整備費用を示せ。  
答弁 一部の事業費が約100億円とは言ったが、総事業費は不確定だ。





# 平成16年度 各党派等の意見

16年度予算を審査するため、議長を除いた全議員を委員とする予算特別委員会を設置し、7日間にわたって審査を行いました。3月29日の本会議で表明された16年度予算に対する各党派等の意見の一部を、要約してお伝えします。

- 自由民主党世田谷区議団＝新川勝二議員
- 民主党＝すずややすこ議員
- せたがや政策協議会＝田中優子議員
- 社会民主党世田谷区議団＝羽田圭二議員
- 無党派市民＝木下泰之議員
- 無所属＝青空こうじ議員
- 公明党世田谷区議団＝栗林のり子議員
- 生活者ネットワーク世田谷区議団＝山木きょう子議員
- 日本共産党世田谷区議団＝里吉ゆみ議員
- 反政・改革派＝下条忠雄議員
- レインボー世田谷＝上川あや議員

## 財源を効率的、効果的に配分し 小さな政府を実現せよ

自由民主党世田谷区議団

(賛成意見)

国が発表した国内総生産の実質成長率にも表れているように、民間設備投資の増加などに支えられて景気は着実な回復を続けている。しかし、区の財政状況は依然として厳しい。限られた財源を効率的、効果的に配分し、真に区が担うべき施策の展開に努めると共に、小さな政府の実現に全力を挙げよ。16年度予算は、区長交代後の初の当初予算だ。区政の流れを変え、という区長の政治姿勢を、着実に具体化せよ。

行財政改革の推進では、政策評価委員会の中間報告を受け、現金、現物給付などに見直しや職員定数の120名削減などにより、約45億円の経費を削減したことを高く評価する。今後は、外部団体のあり方の見直しや利用者負担の適正化などの課題解決にも力を注ぎ、また、区立保育園の民営化や出張所改革、区立幼稚園のあり方など、区政運営の根幹にもかかわる大きな課題も、区民の不安や混乱を招かぬよう早急な解決が望まれる。民間に任せられるものは民間に任せ、肥大化した組織のスリム化に取り組み、変革を成し遂げよ。

健康に暮らすことは、すべての区民の願いだ。糖尿病や高脂血症を初めとした生活習慣病の予防に向け、食生活の正しい知識の普及や啓発など取り組みを強化せよ。また、疾病の早期発見に検診が果たす役割は大きい。前立腺がん検診の実施では、経過措置として年齢要件を緩和するなど、より多くの区民が受診できるよう配慮せよ。更に、高齢者の在宅生活への不安の高まりを受け、安心コールとナイト・ケアパトロール事業を開始する。現金、現物給付型の福祉施策からの転換を一層進め、新たな福祉需要に的確に対応せよ。

16年度予算には、政策評価委員会の中間報告が反映されている。外部評価を取り入れるべきだ。今後の外部評価においては、外部団体も含めた行政内部の改革には大胆な提言を求める一方、現金、現物給付事業の見直しなど、区民生活に直接影響を与える分野では十分な説明責任を果たせ。

土木工事費の未払い事故など、緊張感の欠如が原因と思われる不祥事が相次いでいる。再発防止のため、第三者機関による服務監察制度を導入せよ。

以下、主要課題について、行財政改革の観点から意見を述べる。

①出張所の再編が検討されている。窓口業務を廃止する出張所には在宅介護支援センターなどを設置し、ボランティア団体と連携した出前型福祉サービスを実施せよ。また、出張所単位の地域会議の開催を通して既存の団体に属さない、新たな人材の発掘に取り組み、地域力の創出につなげよ。

②子ども施策の充実に向け、子ども部が新設される。旧来の縦割り意識を排し、全庁的な取り組み体制を整えよ。幼児教育の充実にも力を注ぐべきだ。国は幼稚園教諭と保育士資格の相互取得の推進を検討しているが、区も世田谷らしい幼児一元化の取り組みを進めよ。

③交通不便地区の解消はもとより、高齢者の移動手段を確保する上でバス交通は欠かせない。路線の拡充に加え、安心して出かけられる街づくりの観点から、停留所へのベンチの設置を進めるべきだ。バス事業者に働きかけると共に、若手芸術家を対象としたベンチのデザインコンペを開催するなど、事業の展開方法も工夫せよ。

④真に大変な生活を余儀なくされている区民への支援を、すべての政策の根本に据えるべきだ。区は一人暮らし高齢者などの不安解消に向け安心コール事業などを始めるが、利用者からの発信が前提となっている。安心して暮らせるよう、双方向からの連絡体制の整備や介護事業者の育成に努めよ。

⑤教育は社会の根幹を成すものだ。学力低下への対策や教員の資質向上など、公教育の信頼回復には一刻の猶予も許されない。区は学校選択制を当面採用しないと表明したが、代替策を示し山積する課題の解決に全力を挙げよ。また、学校における安全の確保は喫緊の課題だ。校舎が防犯に配慮した設計になっていない以上、人的な配置による安全管理の徹底を急げ。

⑥区政の活性化に取り組み、更なる行財政改革の推進を

自由民主党

(賛成意見)

区政は依然として厳しい状況の中、民主党は以下のとおり要望する。

①安定的な財源確保に向け、都区調制度の改善などに努めよ。区

からの補助金や外部団体のあり方も見直せ。また、行革を一層推進するため、職員の提案を施策に生かして活力ある行政を実現せよ。

更に、区が保有する個人情報保護に万全を期せよ。

②出張所の見直しは区民ニーズを把握すると共に、改革の効果を明確に示した上で推進せよ。また、ごみ減量への取り組みを強化するため、リサイクル施設の運営にNPOを活用するなど工夫を凝らせよ。

更に、男女共同参画施策は、子ども施策との連携を強化して進めよ。

③少子高齢社会に対応できるように、特養ホームやグループホームの整備に力を注ぎ、若年層からの健康づくりの啓発など、生涯元気で暮らせるよう支援せよ。更に、子ども初期救急診療所の診療時間延長など小児医療体制を充実せよ。

④職員の不祥事が続く都市整備関連部署の体質を改めよ。また、国分寺崖線などの自然を守ると共に、良好な住環境の保全に努め安全で安心なまちづくりに力を注ぎ、更に、公共交通機関のバリアフリー化を促せ。祖師谷通りのバス実験運行は安全性の面から再検討せよ。

⑤学校教育の充実には教員の資質の向上が不可欠だ。人事権の委譲を都に強く求めよ。学校選択制の導入も改めて検討せよ。また、校門脇に受付を設けるなど学校の安全対策を強化せよ。更に、区立幼稚園で障がい児を積極的に受け入れると共に、保護者などの意見を踏まえ幼児教育のビジョンを作れ。

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー

キャロットタワー





長引く景気低迷により税収の減少が続くなど、区財政は依然として厳しい。歳入の確保に全力を挙げよ。また、歳出の構造改革も必要だ。補助金の見直しでは、区民の理解を得て進めると共に、客観性と公平性が保たれるよう、交付基準を明確にせよ。

区民の理解と協力の下  
区政課題の解決に取り組み  
生活者ネットワーク市田谷区議団  
(賛成意見)

政治主導により山積する区政課題を区民の目線で解決せよ  
せたがや政策会議  
(賛成意見)

①政治主導で閉塞感を打破せよ  
自治体の将来は区長と議会の能力にかかっている。多くの区民要望を実現するためにも政治主導で都区制度改革を推進せよ。  
②電子自治体における効率と責任  
今後の行政は、電子自治体の進捗と大きくかわる。職員の教育を含めたセキュリティ体制、庁内を網羅した情報管理体制、コストの観点を重視したマネジメント体制などを明確にした新たな電子自治体の姿を示すことが急がれる。せめて、区役所のメール解禁を急げ。  
③区民に役立つ出張所の改革を  
地区の拠点である出張所の見直しは、区民生活に直接影響を及ぼす。今後の地域行政制度のあり方を明確にした上で見直しに当たれ。  
④管理能力こそ自治体の基礎体力  
管理職はその権限を自覚し、不祥事の責任は管理職自身が負うことを基本とし、再発防止に努めよ。  
⑤学校選択制ではない教育改革を  
区立学校の質の向上を図るためITの活用などで情報を公開し、学校の透明性を高めることに努めよ。

負担の押し付けはやめ  
住民福祉の増進に努めよ  
日本共産党市田谷区議団  
(一般会計と国保会計と介護会計には反対、その他の会計には賛成する意見)

自治体の最大の使命は住民福祉の増進だ。区民に更なる痛みを強いる予算案には反対する。第一に区民の支えとなっている事業を軒並み後退させている。被

爆者見舞金、就学援助の削減やおはよう訪問の有料化などはやめよ。第二に区民の切実な願いに背を向けている。認可保育園や特養ホームを増設せよ。区独自に少人数学級の導入にも取り組め。第三に無駄な公共事業に多額の税金を投入している。地元の反対がある道路計画や住民合意の不十分な二子玉川再開発は見直せ。区民生活優先の視点を失ってはならない。住民サービスの低下を招く出張所窓口業務の縮小が検討されているが、全区民を対象とした説明会を開き、広く議論を重ねよ。地域の子育て交流の場として重要な区立幼稚園は存続せよ。



男女共同参画社会の確立を  
社会民主主義市田谷区議団  
(賛成意見)

生命と財産を守る立場から自衛隊のイラク派兵に反対する。区民の生命にかかわる福祉サービスは安易に削減すべきでない。固定資産税の区への移管など税源を確保しサービス水準を維持せよ。教員人事権の委譲を都に求め、地域の実情に応じた人事配置を行え。また、学校協議会を一層活用し地域の声を学校運営に生かせ。男女共同参画社会の確立に向け子育て支援策を充実すべきだ。男性が育児時間を確保できるように事業者を促せ。育児負担を軽減させる家事援助サービスも拡充せよ。

熊本区政には是々非々だ  
反政改・改革派  
(一般会計には反対、その他の会計には賛成する意見)

大場区政の流れを変えようという区長の方針は長年の我が主張と重なり賛同するが、教育改革など見解の相違もあり、是ということにはならなかった。今後も区長とは一定の距離を置き、是については積極的に対応し、非については劇辛で追及するスタンスを堅持する。

環境の世紀逆行の道路族区政に否  
無党派市民  
(一般会計には反対、その他の会計には賛成する意見)

持続的発展のサステイナブルは  
持たざるで支えるの意を持つ。環境の世紀は車・道路・都市開発優先であってはならない。下北沢を壊す補助54号線整備は再考せよ。関連部署での不祥事の中、道路整備部に用地買収権限を移すは泥棒に追い銭。熊本道路族区政に反対。

声なき声に耳を傾けよ  
レインボー市田谷  
(賛成意見)

平成16年度各会計予算

内	容	対前年度比伸び率 (%)
一	一般会計	2291億3193万円 10.5
	国民健康保険事業会計	628億3195万3千円 4.7
	老人保健医療事業会計	533億1951万4千円 -8.5
	介護保険事業会計	336億7679万6千円 11.8
	中学校給食費会計	3億6401万7千円 -8.1
	計	3793億2421万円 6.5

一般会計予算の内訳 (%=構成比)

歳入

- 諸収入 78億8240万9千円 3.5%
- 繰入金 89億6128万5千円 3.9%
- 地方特例交付金 96億8300万円 4.2%
- 都支出金 99億6841万2千円 4.4%
- 国庫支出金 183億755万円 8.0%
- 特別区交付金 190億円 8.3%
- 特別区債 290億2180万円 12.6%
- 特別区税 1012億9900万円 44.2%
  - 特別区民税 965億5800万円 42.1%
  - 特別区たばこ税 45億円 2.0%
  - 軽自動車税 2億2300万円 0.1%
  - 入湯税 1800万円 0.0%
- その他 172億847万4千円 7.5%

歳出

- 環境費 88億3611万5千円 3.9%
  - 清掃・リサイクル事業、公害対策など
- 教育費 195億5634万6千円 8.5%
  - 教育の充実、小中学校や幼稚園の運営、学校施設の整備、生涯学習事業、図書館の運営、スポーツの振興など
- 総務費 206億3337万8千円 9.0%
  - 防災対策、私立幼稚園などへの助成、広報・広聴活動、施設の維持管理、文化・コミュニティ事業、青少年の健全育成、男女共同参画社会の推進、電子計算機等の維持など
- 土木費 281億5175万4千円 12.3%
  - 都市計画、再開発、道路の新設・改良・維持管理、河川や公園の整備、住環境の整備、建築行政、交通安全対策、緑化推進など
- 公債費 375億2783万8千円 16.4%
  - 特別区債の元金や利子の償還など
- 民生費 575億1132万5千円 25.1%
  - 高齢者福祉(介護保険を除く)、障害者福祉、児童福祉、福祉施設の整備・運営など
- 職員費 489億1849万円 21.4%
  - 職員の人件費
- その他 79億9668万4千円 3.4%
  - 衛生費(生活習慣病の予防、母子保健、地域医療整備など)、産業経済費(商工業振興、労働・雇用促進事業など)、議会費(議会活動、区議会広報活動)など



# 第2回定例会は、6月に開催する予定です。

議決内容の要約

進士 五十八歳(再任)  
若井田 正文 53歳(新任)

議員提出議案 1件  
区議会委員会条例の改正 (全員賛成)

組織改正に伴い、常任委員会の所管を一部変更した。

### 《第1回臨時会の議決内容》

1月30日に開催された臨時会で議決された案件の概要をご紹介します。

●条例の改正 1件  
○区長等の退職手当条例(全員賛成)

国家公務員から引き続き助役などに選任された者の退職手当の特例を定めた。

●専決処分の承認 1件  
○住基ネットのセキュリティ条例の一部改正

賛成多数 賛成：自民、公明、民主、生革、政策、社民、反政、無党派、無所属、無所属  
反対：共産、共産、社民、無党派

電子署名に係る地方公共団体の認証業務に関する法律の施行に伴うもの。

●助役選任の同意1件(全員賛成)

吉田 真貴子 43歳(新任)  
(旧姓) 山田 真貴子

## 請願

皆さんから出された請願・陳情の審議結果などをお知らせします。

《第1回臨時会分》  
審議が終わったもの  
趣旨採択したもの

1件

閉会中に開催された委員会
15年12月15日(月) オウム
16日(火) 議運
17日(水) 清掃
18日(木) 企画、区民、文教
19日(金) 福祉、都市
16年1月15日(木) 区民
22日(木) 議運
27日(火) 議運、企画、都市
28日(水) 清掃
2月17日(火) 企画、区民、福祉、文教
18日(水) 福祉、都市
19日(木) 分権、オウム、清掃、交通
23日(月) 議運
会期中の主な会議日程
16年1月30日(金) 第1回臨時会本会議(議案の議決、請願の付託)、議運、企画、区民
3月1日(月) 本会議(代表質問、一般質問)、議運
2日(火) 本会議(代表質問、一般質問)、議運
3日(水) 本会議(一般質問、議案の付託、請願の付託)、議運、予算
4日(木) 企画、区民、文教
5日(金) 福祉、都市
9日(火) 分権、オウム、清掃、交通
10日(水) 議運、本会議(議案の議決)
11日(木) 予算(総括質疑)
12日(金) 予算(企画総務委員会所管分)
16日(火) 予算(区民生活委員会所管分)、都市
17日(水) 予算(福祉保健委員会所管分)
18日(木) 予算(都市整備委員会所管分)
22日(月) 予算(文教委員会所管分)
24日(水) 予算(補充質疑)、議運
29日(月) 議運、本会議(議案の議決、請願の付託)

委員会名称
議運=議会運営委員会
区民=区民生活委員会
都市=都市整備委員会
分権=地方分権・庁舎問題等対策委員会
オウム=オウム問題・防犯対策委員会
清掃=清掃・リサイクル対策委員会
交通=公共交通機関対策等委員会
予算=予算委員会
企画=企画総務委員会
福祉=福祉保健委員会
文教=文教委員会
地方分権・庁舎問題等対策委員会
オウム問題・防犯対策委員会
清掃・リサイクル対策委員会
公共交通機関対策等委員会
予算委員会

○高次脳機能障害者のための施策や施設の設置を求める陳情 (全員賛成)

◆不採択となったもの 3件

○中高層建築物に関する認可手続きのあり方と条例遵守強化に関する請願

賛成多数 賛成：自民、公明、民主、生革、政策、社民、無党派、無所属  
反対：共産、反政、無党派

○臨時職員などの公正な賃金等の確保に関する陳情

賛成多数 賛成：自民、公明、民主、生革、政策、社民、無党派、無所属  
反対：共産、社民、無党派

○「パート・派遣労働者などの適正な労働条件の整備及び均等待遇を求める」政府・関係省庁への意見書等採択に関する陳情

賛成多数 賛成：自民、公明、民主、生革、政策、反政、無党派、無所属  
反対：共産、社民、無党派

以上3件の賛否は、不採択とすることに對するもの。

◆取下げを承認したもの 1件

○金子容子さん救出に関する陳情 (全員賛成)

◆新しく出されたもの

◆企画総務委員会で審査するもの 1件  
○区内在住の私立小学校・中学校児童生徒に対する教育費助成に関する請願

◆都市整備委員会で審査するもの 2件  
○株式会社くらしの友による、桜新町2丁目葬祭場設置計画の見直しを求める請願

○「世田谷区中高層建築物等の建築に係る紛争の予防と調整に関する条例」の一部改正を求める請願

◆採択したもの 1件

○「世田谷区中高層建築物等の建築に係る紛争の予防と調整に関する条例」の一部改正を求める請願 (全員賛成)

「願意に沿うよう努力された」との意見を付けました。

◆不採択とみなされたもの 1件

○世田谷・被爆者見舞金減額に関する請願

賛成多数 賛成：自民、公明、民主、生革、政策、反政、無党派、無所属  
反対：共産、社民、無党派

予算案を可決したため(予算特別委員会付託分)。なお、賛否は不採択とみなすことに對するもの。

◆新しく出されたもの

◆区民生活委員会で審査するもの 1件  
○給田4丁目墓地建設において大型事業場ができたときの交通公害、犯罪の増加など周辺住宅環境に及ぼす影響について調査・観測を求める陳情

◆福祉保健委員会で審査するもの 1件  
○安定した公的年金制度の確立等に関する意見書採択に関する陳情

◆都市整備委員会で審査するもの 3件  
○(仮称)パークハウス代沢2丁目計画(代沢2丁目104番2)の

計画変更についての請願  
○商店街振興のための条例などの整備についての請願  
○NHK社宅跡地5階建マンション建設反対に関する陳情

◆清掃・リサイクル委員会で審査するもの 1件  
○「容器包装リサイクル法の見直しを求める意見書」提出を求める陳情

◆予算特別委員会で審査するもの 1件  
○世田谷・被爆者見舞金減額に関する請願

※委員会の所管事項を改めたため、既に付託済みの請願1件の付託先を併せて変更しました。

### 党派等の略称

自民=自由民主党世田谷区議団  
公明=公明党世田谷区議団  
民主=民主党  
生革=生活者ネットワーク世田谷区議団  
政策=せたがや政策会議  
共産=日本共産党世田谷区議団  
社民=社会民主党世田谷区議団  
反政=反政・改革派  
無党派=無党派市民  
無所属=無所属  
世田谷=世田谷

## 要望書

区議会は、次の要望書を関係機関あてに提出しました。

無年金定住外国人に対する救済措置についての要望書

日本に定住する外国人の年金問題については、昭和57年1月1日、難民条約の批准に伴う国籍要件の撤廃により、定住外国人について一定の改善が図られました。

しかしながら、大正15年4月1日以前に生まれた外国人については、保険料払込終了年齢に到達しているため老齢年金が受けられないなど、制度的に無年金となっておりの方が多数おられます。

平成14年には、厚生労働大臣が、制度的無年金障害者への福祉的措置による救済の「試案」を公表するなど、改善への取り組みは見られますが、いまだ、救済措置はとられていません。

これらの制度的無年金者に対し、一部の区市町村では福祉的給付によって救済策を講じているところもあり、世田谷区議会は政府に対し、以下の事項を要請します。

1. 被害者の自立支援策を行政責任として明確にすること。  
2. 被害者支援の制約となつていない関連法についても見直しを行うこと。  
3. 被害者子どもたちが、健やかに生活している環境と相談体制を確保すること。  
4. 保護命令の対象や期間、範囲などを実態に即したものとすし、手続を簡略化すること。  
5. 高齢者、障がい者、外国籍住民など、DVと複合した問題を持った被害者の人権に配慮し、セーフティネットとして機能する制度をつくること。  
6. 都道府県と市区町村の役割分担を明確にし、全国均一な制度適用を図ること。  
7. 自治体及び民間支援団体への財政支援を明確にすること。

今後、各自治体においては、公的支援を財政面・制度面から考えていかなければなりません。被害者が自立して生活できる社会制度がなければ、保護命令により一時的に暴力から逃れても、加害者からの暴力を断ち切ることができません。また、被害者が精神的に回復し自立するためには、長い時間が必要です。

DV家庭で日常的に暴力にさらされる子どもたちや、高齢・障がい・外国籍など複合した問題を持つ被害者へのサポートも必要です。被害者の人権を守り、誰もが安心して暮らせる社会の実現を求め、心して暮らせる社会の実現を求め、D.V防止法の改正にあたり、世田谷区議会は政府に対し、以下の事項を要請します。

### 正副委員長の内閣総理 法務・厚生労働大臣あて

平成16年1月15日  
予算特別委員会  
委員長 石塚 一信(自民)  
副委員長 栗林のり子(公明)  
副委員長 山木きょう子(生 新)

### 議員の住所変更

高橋 昭彦(公 明)  
新住所 赤堤2-1-30-12  
TEL(三三三)〇四四三

本紙に掲載された質問や答弁などの詳しい内容についてお知りになりたい方は、会議録(本会議の分は5月中旬、予算特別委員会の分は6月中旬発行予定)をご覧ください。なお、会議録は、区立図書館、区政情報センター、総合支所、出張所などに備えてあります。また、ホームページでもご覧いただけます。